

新公会計 NEWS

《第 3 号》

～ 大阪府の財務状況を分かりやすく！ ～



今回は、「財務4表」のうちの1つ、『行政コスト計算書』の解説（前編）です。

「行政コスト計算書（PL）」は、一会計期間に行政サービスを提供するために要した費用とそれを賄うための財源である収入及び収支の差額を表示した計算書です。

（減価償却費や引当金繰入額などの現金支出を伴わない費用についても計上しています。）

行政コスト計算書（PL）の構成

科 目	平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	差 (A-B)
通常収支の部			
I 行政収支の部			
1 行政収入	2,102,087	2,012,075	90,012
地方税	1,283,089	1,238,401	44,688
地方譲与税	145,639	121,154	24,485
市町村たばこ税交付金	1,221	1,190	31
地方特例交付金	4,615	4,857	▲ 242
地方交付税	284,449	284,441	8
交通安全対策特別交付金	2,133	2,219	▲ 86
	21,543	20,940	603
	63,293	64,195	▲ 902
	219,613	205,706	13,907
前年度収入	7,480	5,525	1,955
寄附金	5,102	397	4,705
繰入金	5	-	5
特別会計繰入金	-	-	-
公営企業会計繰入金	5	-	5
税諸収入	579	497	82
事業収入(特別会計)	10,486	10,805	▲ 319
その他行政収入	52,839	51,747	1,092
2 行政費用	2,083,092	2,119,238	▲ 36,146
税運助費用	381,028	373,552	7,476
給与関係費	674,963	683,119	▲ 8,156
物件費	99,960	89,974	9,986
維持補修費	42,907	39,318	3,589
社会保障扶助費	40,807	42,385	▲ 1,578
負担金・補助金・交付金等	616,309	598,186	18,122
	10,092	13,302	▲ 3,210
	9,991	10,356	▲ 365
	156,228	156,667	▲ 439
債務保証費	-	-	-
不納欠損引当金繰入額	5,638	6,373	▲ 735
貸倒引当金繰入額	▲ 676	1,541	▲ 2,216
賞与引当金繰入額	43,805	42,813	991
退職手当引当金繰入額	▲ 14,030	58,727	▲ 72,757
その他引当金繰入額	-	-	-
その他行政費用	16,070	-	16,070
行政収支差額	18,995	126,158	▲ 107,163
II 金融収支の部			
1 金融収入	719	731	▲ 11
受取利息及び配当金	719	-	719
2 金融費用	77,523	79,990	▲ 2,467
地方債利息・手数料	77,415	79,990	▲ 2,575
地方債発行差金	28	-	28
他会計借入金利息等	80	31	49
金融収支差額	▲ 76,804	▲ 79,990	3,187
通常収支差額	▲ 57,809	▲ 187,154	129,345
特別収支の部			
1 特別収入	84,338	372,000	▲ 287,662
分担金及び負担金(公共施設等整備)	4,262	-	4,262
分担金及び負担金(災害復旧費)	-	-	-
国庫支出金(公共施設等整備)	60,784	-	60,784
国庫支出金(災害復旧費)	151	711	▲ 560
固定資産売却益	10,665	11,687	▲ 1,021
その他特別収入	8,470	301,244	▲ 292,774
2 特別費用	12,105	171,318	▲ 159,213
固定資産売却損	1,480	-	1,480
固定資産除却損	3,566	-	3,566
災害復旧費	152	-	152
その他特別費用	6,906	177,970	▲ 171,063
特別収支差額	72,233	188,577	▲ 116,344
当期収支差額	14,424	1,424	13,001

通常収支の部

- 行政収支の部
- 金融収支の部

特別収支の部

行政収入

行政費用

金融収入

金融費用

特別収入

特別費用



行政コスト計算書の「通常収支の部」について解説します。

行政コスト計算書（PL）の概要

（単位：億円）

	平成 25 年度	平成 24 年度
通常収支の部		
行政収支の部		
行政収入	21,021	20,121
行政費用	20,831	21,192
(行政収支差額)	190	▲1,072
金融収支の部		
金融収入	7	7
金融費用	775	807
(金融収支差額)	▲768	▲800
(通常収支差額)	▲578	▲1,872
特別収支の部		
特別収入	843	3,720
特別費用	121	1,834
(特別収支差額)	722	1,886
当期収支差額	144	14

「**通常収支の部**」は「**行政収支**」（行政の通常の活動による収支）の部と「**金融収支**」の部※に区分して表示しており、要した費用とその財源である収入及び収支の差額を表示しています。

（H24 年度に比べ 1,293 億円増）

「**行政収入**」には、「地方税」「地方譲与税」「地方交付税」「使用料及び手数料」などがあります。

（H24 年度に比べ 900 億円増）

「**行政費用**」には、「税連動費用」（府税の一定割合を市町村などへ交付する費用）や「給与関係費」「物件費」「負担金・補助金・交付金等」があります。

また、「減価償却費」や「引当金繰入額」（貸倒引当金、退職手当引当金など）があります。

（H24 年度に比べ 361 億円減）

平成 25 年度は行政収入が行政費用を上回っています。

主な要因は、行政収入である「地方税」の収入が 447 億円、「地方譲与税」の収入が 245 億円増加したこと、及び行政費用である「退職手当引当金繰入額」の費用が 728 億円減少したことによります。

（H24 年度に比べ 1,262 億円増）

☆金額は、億円未満を四捨五入して表示しています。
このため、表内での合計等が一致しないことがあります。

※「**金融収支の部**」は、預金利息などの「金融収入」と、地方債の利息などのコストである「金融費用」を表示した収支です。

（H24 年度に比べ 32 億円増）



次回は、行政コスト計算書の後編です。「特別収支の部」・「当期収支差額」などについて解説します！



新公会計制度による大阪府の財務諸表の掲載は、大阪府ホームページ（カテゴリーからさがす）⇒「府政運営・市町村」⇒「財政」⇒「新公会計制度による大阪府の財務諸表について」でご覧いただけます。